



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 太陽誘電株式会社

上場取引所 東

コード番号 6976 URL <http://www.ty-top.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 登坂 正一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 穴井 公之

TEL 03-6757-8310

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	207,528	12.6	26,493	68.1	26,789	61.2	20,049	58.1
2018年3月期第3四半期	184,233	6.4	15,760	64.4	16,617	71.2	12,680	154.9

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 18,422百万円 (1.5%) 2018年3月期第3四半期 18,708百万円 (407.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	162.07	157.57
2018年3月期第3四半期	107.61	99.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	331,827	206,268	62.0	1,612.90
2018年3月期	287,170	170,118	59.1	1,440.79

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 205,839百万円 2018年3月期 169,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		10.00		10.00	20.00
2019年3月期		10.00			
2019年3月期(予想)				11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	271,000	11.0	30,000	48.4	30,000	46.0	21,000	28.4	162.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) エルナー株式会社、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	130,218,481 株	2018年3月期	120,481,395 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2019年3月期3Q	2,597,512 株	2018年3月期	2,645,260 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	123,708,335 株	2018年3月期3Q	117,834,032 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算説明会にて使用した資料等については、開催後速やかに当社のホームページに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	8
(1) 製品別売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年12月31日まで)における当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済全体として緩やかな回復が続きました。先行きについては、米中を中心とした各国の貿易政策の影響、中国やアジア新興国経済の変動、為替動向などに留意が必要な状況です。

当社グループは、研究開発力や生産技術の強みを活かした最先端商品および高信頼性商品に加え、コア技術を活かしたソリューションビジネスを軸に、通信機器市場および自動車・産業機器市場などの成長市場を攻略することにより、中期目標の達成および経営ビジョンの実現を目指しています。また、収益性の向上や将来の部品需要の増加に応える体制を構築するため、ものづくり力の強化を進めています。生産能力の増強に加え、要素技術の高度化と生産工法の変革を進めることで、生産効率の向上を加速していきます。

自動車・産業機器市場では、自動車の電装化、産業機器の電子化に伴い、大型・高耐圧・高信頼の部品需要が増加いたしました。また、通信機器市場では、スマートフォンの高機能・高性能化が続きコンデンサの需要が増加いたしました。その結果、コンデンサの売上が大幅に拡大し、増収増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,075億28百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益は264億93百万円(前年同期比68.1%増)、経常利益は267億89百万円(前年同期比61.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は200億49百万円(前年同期比58.1%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは1米ドル110.44円と前年同期の平均為替レートである1米ドル111.72円と比べ1.28円の円高となりました。

製品別の売上高は次のとおりであります。

[コンデンサ]

積層セラミックコンデンサなどが含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、すべての機器向けの売上が前年同期比で増加したことにより、売上高は1,275億31百万円(前年同期比20.8%増)となりました。

[フェライト及び応用製品]

巻線インダクタ、積層チップインダクタなどの各種インダクタ商品が含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、情報機器向け、通信機器向けの売上が前年同期比で減少したものの、民生機器向け、自動車・産業機器向けの売上が前年同期比で増加したことにより、売上高は323億64百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

[複合デバイス]

モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、電源モジュール、高周波モジュール、部品内蔵配線板「EOMIN™(イオミン)」、関係会社における実装事業などが含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)や電源モジュール等の売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は371億52百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

[その他]

アルミ電解コンデンサ、エネルギーデバイスなどが含まれます。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、連結子会社化したエルナー株式会社のアルミ電解コンデンサが第2四半期から加わり、104億80百万円(前年同期比306.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して446億56百万円増加しました。そのうち流動資産は245億97百万円増加しており、主な要因は、受取手形及び売掛金の増加114億57百万円、現金及び預金の増加51億60百万円、商品及び製品の増加32億22百万円、原材料及び貯蔵品の増加26億36百万円であります。また、固定資産は200億59百万円増加しており、主な要因は、有形固定資産の増加141億29百万円、のれんの増加59億95百万円でありま

す。
負債は85億7百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の増加156億46百万円、長期借入金の増加75億46百万円、その他流動負債の増加50億75百万円、転換社債型新株予約権付社債の減少200億39百万円であります。

純資産は361億49百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月9日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,700	54,860
受取手形及び売掛金	56,933	68,391
商品及び製品	19,310	22,532
仕掛品	21,118	22,578
原材料及び貯蔵品	11,666	14,303
その他	5,875	6,600
貸倒引当金	△278	△344
流動資産合計	164,326	188,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	81,602	95,386
機械装置及び運搬具	245,007	262,678
工具、器具及び備品	22,661	25,933
土地	9,422	11,054
建設仮勘定	6,501	5,922
減価償却累計額	△254,749	△276,399
有形固定資産合計	110,446	124,575
無形固定資産		
のれん	-	5,995
その他	1,309	1,236
無形固定資産合計	1,309	7,231
投資その他の資産		
投資有価証券	7,169	6,996
その他	4,237	4,432
貸倒引当金	△318	△332
投資その他の資産合計	11,087	11,095
固定資産合計	122,843	142,903
資産合計	287,170	331,827

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,389	26,898
短期借入金	20,737	36,384
1年内返済予定の長期借入金	5,160	2,480
未払法人税等	1,684	4,023
賞与引当金	3,663	1,646
役員賞与引当金	231	193
その他	20,600	25,676
流動負債合計	77,467	97,303
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,039	-
長期借入金	8,882	16,429
役員退職慰労引当金	131	142
退職給付に係る負債	2,865	3,230
その他	7,664	8,454
固定負債合計	39,584	28,255
負債合計	117,052	125,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,557	33,575
資本剰余金	41,518	51,535
利益剰余金	113,984	131,579
自己株式	△3,302	△3,243
株主資本合計	175,756	213,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,896	2,354
繰延ヘッジ損益	△15	51
為替換算調整勘定	△9,028	△10,173
退職給付に係る調整累計額	167	161
その他の包括利益累計額合計	△5,980	△7,607
新株予約権	342	428
純資産合計	170,118	206,268
負債純資産合計	287,170	331,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	184,233	207,528
売上原価	137,803	146,085
売上総利益	46,430	61,443
販売費及び一般管理費	30,669	34,950
営業利益	15,760	26,493
営業外収益		
受取利息	204	306
受取配当金	126	141
為替差益	-	436
助成金収入	1,454	382
その他	263	200
営業外収益合計	2,048	1,466
営業外費用		
支払利息	178	261
持分法による投資損失	198	478
為替差損	653	-
株式交付費	-	144
休止固定資産減価償却費	121	132
その他	40	153
営業外費用合計	1,191	1,170
経常利益	16,617	26,789
特別利益		
固定資産売却益	14	13
投資有価証券売却益	-	37
段階取得に係る差益	-	249
特別利益合計	14	299
特別損失		
固定資産除売却損	228	247
減損損失	50	75
投資有価証券評価損	0	52
事業構造改善費用	-	1,978
本社移転費用	95	-
その他	0	529
特別損失合計	375	2,882
税金等調整前四半期純利益	16,256	24,206
法人税、住民税及び事業税	3,181	4,657
法人税等調整額	395	△500
法人税等合計	3,576	4,156
四半期純利益	12,680	20,049
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,680	20,049

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	12,680	20,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,227	△542
繰延ヘッジ損益	△27	66
為替換算調整勘定	4,797	△1,144
退職給付に係る調整額	31	△6
その他の包括利益合計	6,028	△1,626
四半期包括利益	18,708	18,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,708	18,422

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債に付されている新株予約権の全てについて権利行使があったことに伴う新株の発行により、資本金10,017百万円、資本準備金10,017百万円がそれぞれ増加しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式取得によりエルナー株式会社を子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。なお、エルナー株式会社は当社の特定子会社に該当していません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

エルナー株式会社は株式の追加取得により子会社となったため、第1四半期連結会計期間より、同社及びその子会社8社を連結の範囲に含めております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

エルナー株式会社は株式の追加取得により関連会社から子会社となったため、第1四半期連結会計期間より、持分法適用の範囲から除いております。また、同社の持分法適用会社1社を持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

(1) 製品別売上高

製品区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		増減	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
コンデンサ	105,567	57.3	127,531	61.5	21,963	20.8
フェライト及び応用製品	31,970	17.4	32,364	15.6	393	1.2
複合デバイス	44,116	23.9	37,152	17.9	△6,963	△15.8
その他	2,579	1.4	10,480	5.1	7,901	306.3
合計	184,233	100.0	207,528	100.0	23,295	12.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

上場会社名 : 太陽誘電株式会社
 コード番号 : 6976 (東証 第一部)
 代表者 : 代表取締役社長 登坂 正一
 問合せ窓口 : 経営企画本部 経理部
 TEL (03-6757-8310)

2019年3月期 第3四半期決算概要

(百万円未満切捨て)

[業績の概要]

科 目	期 別	前第3四半期 (2017.4.1~2017.12.31)		当第3四半期 (2018.4.1~2018.12.31)		増減	
		金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
売上高		184,233	100.0	207,528	100.0	23,295	12.6
営業利益		15,760	8.6	26,493	12.8	10,732	68.1
経常利益		16,617	9.0	26,789	12.9	10,171	61.2
税引前当期純利益		16,256	8.8	24,206	11.7	7,949	48.9
親会社株主に帰属する当期純利益		12,680	6.9	20,049	9.7	7,369	58.1
包括利益		18,708	-	18,422	-	△285	△1.5

1株当たり当期純利益	107.61 円	162.07 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	99.15 円	157.57 円

研究開発費	7,792 百万円	9,795 百万円	2,002百万円	25.7%
設備投資額	16,508 百万円	30,572 百万円	14,063百万円	85.2%
減価償却費	18,855 百万円	19,353 百万円	497百万円	2.6%

(注) 百分比は売上高比であります。

	前連結会計年度末 (2018.3.31)	当第3四半期 (2018.12.31)	増減	
			金額	増減率(%)
総資産	287,170 百万円	331,827 百万円	44,656百万円	15.6
純資産	170,118 百万円	206,268 百万円	36,149百万円	21.2
自己資本比率	59.1 %	62.0 %	2.9ポイント	-
1株当たり純資産	1,440.79 円	1,612.90 円	172.11 円	11.9

[製品別売上高]

製品区分	前第3四半期 (2017.4.1~2017.12.31)		当第3四半期 (2018.4.1~2018.12.31)		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
コンデンサ	105,567	57.3	127,531	61.5	21,963	20.8
フェライト及び応用製品	31,970	17.4	32,364	15.6	393	1.2
複合デバイス	44,116	23.9	37,152	17.9	△6,963	△15.8
その他	2,579	1.4	10,480	5.1	7,901	306.3
合計	184,233	100.0	207,528	100.0	23,295	12.6

TAIYO YUDEN